

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和4年度事業分)

施設名 山梨県立武田の杜保健休養林

所管課 林政部 県有林課

指定管理者 山梨県造園建設業協同組合

1 指定管理者の推移

導入年度	平成18年度					
指定管理者名	出資法人	指定期間				委託料総額 (単位:円)
財団法人 山梨県林業公社	○	H18.4.1	～	H21.3.31	3年	130,720,000
公益財団法人 山梨県林業公社 (H25.6.30まで財団法人)	○	H21.4.1	～	H26.3.31	5年	217,278,000
山梨県造園建設業協同組合		H26.4.1	～	H31.3.31	5年	207,542,000
山梨県造園建設業協同組合		H31.4.1	～	R5.3.31	4年	169,598,555

2 施設の概要

所在地	甲府市山宮町片山3371 外
設置年月日	昭和54年3月14日
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立武田の杜保健休養林設置及び管理条例
設置目的	青少年その他の県民に自然に親しむ環境を提供することにより、健康の増進及び豊かな情操のかん養を図るため設置する。
主な業務の内容	(1)キャンプ場利用の承認に関する業務 (2)施設等の維持保全に関する業務 (3)森林に関する知識の普及のための催しの実施に関する業務 (4)鳥獣に関する知識の普及のための催しの実施 及び鳥獣の保護に関する業務 (5)自然に関する知識の習得に資するレクリエーション 及び野外活動の機会の提供に関する業務
主な施設内容 (定員等)	○面積:2,500ha ○施設の内容 ・健康の森:サービスセンター352㎡、森林学習展示館88㎡、 展望休憩室15㎡、キャンプ場ログキャビン3棟、癒しの小径10.9km等 ・樹木見本園:休憩舎34㎡等 ・幹線遊歩道:遊歩道23.6km、展望休憩舎4棟等 ・鳥獣センター:管理棟369㎡、展示館210㎡等
備考 (改築工事等の状況、 一括管理施設等)	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和4年度事業分)

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
収入合計	43,120,527	43,720,269	44,661,280	42,774,403	44,607,606	
支出合計	43,680,501	43,492,925	44,372,094	42,196,587	43,246,056	
収支差額	△ 559,974	227,344	289,186	577,816	1,361,550	

4 利用状況、利用者満足度の状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
利用実績	96,997人	93,927人	49,144人	55,813人	66,148人	利用者数
利用者満足度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

5 運営目標の達成状況(令和4年度)

令和4年度 利用者数 目標値 102,600人 → 実績値 66,148人
 目標値に対し64.5%の利用状況であった。利用者減少の要因は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う県からの感染防止の協力要請が継続しているため、感染拡大を懸念して外出を控えるといった社会情勢が大きく影響したものと考えられる。
 また、利用者満足度は、「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計が昨年度を上回る97.2%と目標の95%を超えており、安定的に利用者から好評を得ることができた。

6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和4年度)

利用者数は目標値を下回る結果となったが、介護施設や自治体などの団体利用の受け入れやリピーターを中心とした利用者確保に努めたこともあり、利用者数は前年に比べ、18.5%増加した。
 こうした状況下にあつて、運営においては遊歩道やキャンプ施設等の修繕、眺望及び公園利用者の安全確保のための森林整備のほか、利用者のニーズに沿った環境整備を実施するなど、施設管理者としての責務を果たすとともに、収入を増やし、管理経費の削減に努め、収支差額1,361千円余を確保していることは評価できる。
 また、利用者の満足度が97.2%であることが、適正に指定管理業務を行っていることを裏付けている。
 令和4年度の定期評価に関して、森林公園の有料施設の利用促進についての目標、森林セラピーを含む通年の自然体験プログラム等の提供及び鳥獣センターにおけるボランティアとの協働については、実績が目標を上回る結果となった。
 コロナ禍においても、自然体験プログラムやキャンプ場施設の場等を提供する武田の杜に対するニーズは高まっていることから、利用者確保につながる取り組みを実施するよう指導した。

7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和4年度)

アンケート結果からリピーターを意識した既存プログラムの改良や利用者のニーズに応えた新規企画を拡充させることによって、自然体験プログラム等の回数や参加者を前年に比べ増加させることができた。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

施設名 山梨県立武田の杜保健休養林

所管課 林政部 県有林課

指定管理者 山梨県造園建設業協同組合

1 利用状況

(単位:人、%)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数	利用者数	96,997	93,927	49,144	55,813	66,148
	利用者数合計	96,997	93,927	49,144	55,813	66,148
	目標値	90,831	100,600	100,600	101,600	102,600
	実績/目標割合	106.8%	93.4%	48.9%	54.9%	64.5%
	目標値の設定方法	前年度目標値×1.01	事業実施計画書 (前年度目標値×1.01)			
利用率	稼働率等(利用率)	306人/日	297人/日	157人/日	179人/日	211人/日
	稼働率等(利用率)の算定方法	利用者人数/営業日数				

2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等	山梨県森林公園金川の森(どんぐりの森、スポーツの森、かぶとむしの森等)
----------	-------------------------------------

3 補修工事等の状況(令和4年度)

(単位:円)

県	武田の杜幹線遊歩道修繕工事	7,667,000
県	武田の杜コインシャワー設置工事 外4件	6,706,700
管	ログキャビン調整修理及び森林軌道展示トロッコ土台取替工事	99,000
管	外灯、キャンプ場女子トイレ入口ポーチ灯取替工事	77,000
管	車検整備 外10件	1,083,264

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件20万円未満の修繕等は指定管理者が実施

*ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

4 自動販売機設置状況等(令和4年度)

(単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額
3	随意契約	売上額の19%	68,786	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

5 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
収 入	A 収入額計	43,120,527	43,720,269	44,661,280	42,774,403	44,607,606
	施設利用料	928,120	844,590	88,010	263,690	383,280
	指定管理委託料	41,508,000	42,360,000	42,499,555	42,221,000	42,518,000
	自動販売機収入	63,362	51,999	44,645	51,823	68,786
	その他(事業収入)	621,045	463,680	404,770	237,890	320,635
	その他(誘客促進事業)			1,624,300		1,316,905
支 出	B 支出額計	43,680,501	43,492,925	44,372,094	42,196,587	43,246,056
	人件費	25,963,291	25,424,070	20,804,501	20,743,716	21,837,432
	修繕費	533,151	611,094	1,073,635	2,510,924	1,259,264
	光熱水費	3,162,159	3,259,697	2,361,280	2,240,526	2,925,514
	主催事業費	838,902	840,524	469,922	735,366	1,055,505
	消耗品費	1,196,378	1,436,846	2,091,219	1,324,047	1,734,255
	印刷製本費	319,004	280,842	512,550	232,500	297,525
	租税公課費	102,907	82,906	110,310	78,612	122,812
	原材料費	1,029,580	979,642	697,272	680,030	664,961
	手数料	172,004	352,487	131,436	215,516	383,365
	保険料	456,415	454,914	466,751	499,682	521,610
	通信運搬費	543,092	550,354	552,705	570,082	562,438
	燃料費	419,939	313,519	196,491	358,611	412,212
	その他	3,094,362	3,420,405	5,084,595	3,066,288	4,586,665
	その他					
	外部委託費	5,849,317	5,485,625	9,819,427	8,940,687	6,882,498
	清掃業務	969,732	776,035	818,510	766,700	842,050
	遊歩道等管理業務	2,601,832	1,564,768	3,937,120	3,603,490	3,196,680
	その他(浄化槽管理費等)	2,277,753	3,144,822	5,063,797	4,570,497	2,843,768
外部委託比率	13.4%	12.6%	22.1%	21.2%	15.9%	
県への納付金						
収支差額(A-B)	△ 559,974	227,344	289,186	577,816	1,361,550	

一人当たり指定管理者委託料*	427.9	451.0	864.8	756.5	642.8
----------------	-------	-------	-------	-------	-------

* 指定管理者委託料÷利用者数(単位:円)

(参考)自主事業に係る収支状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
C 収入額計	48,075	66,130		500,000	550,000
D 支出額計	551,255	555,341		506,792	556,536
収支差額(C-D)	△ 503,180	△ 489,211		△ 6,792	△ 6,536

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

6 自主事業の実施状況

	事業名	対象者	実施場所
1	親子緑の集い	小中学生の 親子	健康の森、 会議室
2	第13回武田の杜トレイルランニングレース	一般利用者	武田の杜
3	夜景観賞会	一般利用者	健康の森第 一駐車場
4	甲武信ユネスコエコパークインフォメーション	一般利用者	武田の杜サー ビスセンター
5	ジュニアトレイルランニング	幼児、小中学 生、保護者	健康の森

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

8 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>委託業務と併せ職員による清掃や新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のための消毒作業を行うなど、施設の美化活動や安全対策を徹底し、利用者の快適性の向上に努めた。</p> <p>浄化槽、電気設備、消防設備、給水施設等の点検、修理を実施した。</p> <p>鳥獣センターにおいて発生した大規模な漏水に対処するため、埋設漏水修理工事を実施した。</p>	<p>業務計画書に基づき、定期点検や修理等施設の維持管理を適正に実施し、利用者の快適性の向上を図っていることは評価できる。</p> <p>今後も、必要な設備や施設の修繕など、快適性向上への取り組みや、遊歩道の点検、補修、倒木や危険木の撤去など、利用者の安全確保に向け適切な時期に取り組むこと。</p>
運營業務	<p>森林の癒し効果を活用した森林セラピー事業において、昇仙峡ツアー(水晶研磨体験)を加えたPR効果の高い事業を、地域と連携しながら開催し、多くの参加者を得た。</p> <p>また、来園者が興味を引くようサービスセンターに武田の杜周辺の動植物の写真や固有種のカタツムリや、クマタカのはく製の展示を行い、また、キャンプ場のテントサイトに炉を整備し、レンタル用のテントを新たに購入するなど利用者の利便性に努め、快適なサービスの提供に努めた。</p>	<p>森林セラピーの内容充実、動植物の写真、剥製展示、テントの購入など利用者の快適性の向上や、満足度を高める取り組みを工夫しながら実施することで、利用者から高い評価を得ていることは評価できる。</p> <p>今後も引き続きこうした取り組みを推進すること。</p>
利用状況	<p>介護施設や自治体などの団体利用を受け入れたり、新たな自主事業を行うなど、リピーターを中心に利用者の確保を図った。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症拡大対策のため、キャンプ場の隔日オープンや主催事業の定員制限などをした一方、身近な野外活動への需要が高まったこともあり、利用者数は昨年と比べ増加した。</p>	<p>新型コロナウイルスの影響は依然として大きく、利用者数は昨年度と同様に、目標を下回ってしまった。</p> <p>一方で、対前年では増加に転じており、団体利用の受け入れや新たな自主事業を行うなどで、利用者数が回復したことは評価できる。</p> <p>今後もアンケートなどを活用し利用者の意見を取り入れ魅力ある主催事業の実施や施設管理を適切に行うなど、利用者の確保に向け積極的に取り組むこと。</p>
収支状況	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、キャンプ場の隔日オープン、デイキャンプ場の利用者数制限を実施したことなどにより、事業収入等は目標額には達しなかった。一方、人件費など管理経費の支出を抑制したことで、収支の改善が図れた。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施することで有料施設利用者数の落ち込みがあるなか、管理経費の抑制等により、収支をプラスにしたことは評価できる。</p> <p>今後はアフターコロナを見据え、主催事業や有料施設への利用者増加の取り組みを推進すること。</p>
自主事業	<p>新型コロナ感染拡大により、ジュニアトレランなど規模を縮小して開催した事業もあったが、概ね計画した事業は実施でき、参加者等からも高い評価を得た。</p>	<p>コロナ禍にあったが、概ね計画していたイベントが実施することができ、参加者等から高い評価が得られたことは評価できる。</p> <p>今後も利用者のニーズにあった自主事業となるよう、アンケート結果等を踏まえ実施すること。</p>
利用者満足度	<p>利用者が安心して快適に楽しく過ごせるよう管理運営に努めた結果、アンケートでは、スタッフの対応、施設の整備状況、主催事業の内容等すべての項目で高い評価をいただいている。今後も高い評価を得られるよう努めていきたい。</p>	<p>「満足・どちらかといえば満足」の比率が97%と非常に高く、昨年度に引き続き利用者サービスに努めていることは評価できる。</p> <p>今後とも高い評価を維持できるよう、利用者のニーズに配慮した運営に取り組むこと。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

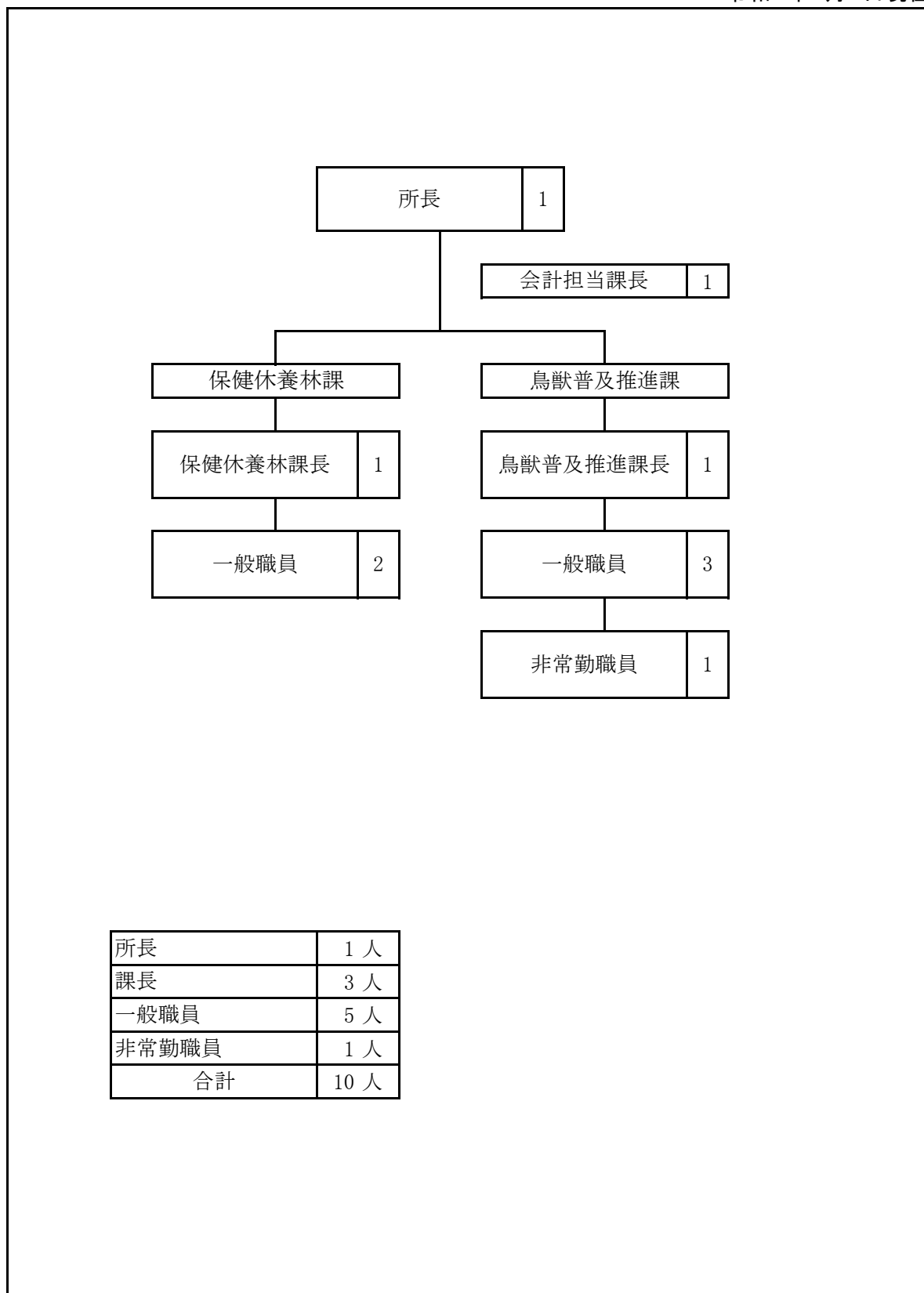
9 施設所管課による定期評価結果

施策推進 業務の内容	評価	改善内容
森林公園の 有料施設の 利用促進	<p>施設の利用促進を図るため、デイキャンプ場の利用件数を評価指標とし、目標値を56件に設定。</p> <p>キャンプ場の隔日オープン等の利用制限を行ったが、3密を避け、コロナ禍でも楽しむことができるキャンプ等アウトドアの人気により、76件の利用があり、実績が目標を上回る結果となった。</p>	<p>アフターコロナを見据え、施設のホームページやチラシ等を活用した広報活動を充実させ、利用促進に努めること。</p>
森林セラ ピーを含む 通年の自然 体験プログラ ムの提供	<p>自然に関する知識の習得に資するレクリエーションや野外活動の機会を提供するため、森林セラピーをはじめとする自然体験プログラム等の実施回数を評価指標とし、目標値を62回に設定。</p> <p>リピーターを意識した既存プログラムの改良やアンケート結果から利用者のニーズに応えた新規事業を拡充させた結果、64回となり目標を達成した。</p>	<p>今後もアンケート結果を踏まえ、利用者のニーズに応えるプログラムの提供に心がけることで利用者の増加や満足度向上に努めること。</p>
鳥獣セン ターにおけ るボランティ アとの協働	<p>鳥獣保護の重要性について普及・啓発を図るため、野鳥等の保護を行う鳥獣センターにおけるボランティア及び実習生受け入れ回数を評価指標とし、目標値を75回に設定。</p> <p>令和3年度と比べて、実習の回数が減少したものの、社会人の方を安定的にボランティアとして受け入れられたことから、実績値は113回となり、実績が目標を上回る結果となった。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、学生の受入回数及び人数は控えられているが、目標値を達成していることは評価できる。</p> <p>今後は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う社会情勢の変化を鑑みて、活動内容を見直すと共に、より多くの方を受け入れ、興味関心を持つ方を増やせるように努めること。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

10 管理体制(組織図)

令和4年4月1日現在



所長	1 人
課長	3 人
一般職員	5 人
非常勤職員	1 人
合計	10 人